

【教養科目領域/学術科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
憲法概論	NLA11_017	必修	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
桑原 修	(健) B303	o.kuwa	火曜日 11:00~13:00		
授業の目的・概要	本講義では、日本国憲法を中心に憲法の基本原理、人権、統治機構などについて学び、憲法の基本的な役割と現代社会における意義について理解することを目的とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他()				
学習上の助言	日々の生活で法的思考を習慣付けることによって法的感覚を身に付けることができる。これにより実生活において法令理解と遵守の大切さを実感することができる。				
教科書	特に指定なし				
参考書	特に指定なし				
外部教材	特に指定なし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	社会の動向に対し法的思考で考えそれを示すことができる。		HSU (1) (2) (3) (5) NS (1) (4) (5)		
②	社会人としての基礎的な知識を身に付けることができる。		HSU (1) (2) (3) NS (1) (5)		
③	人権を尊重し他者を思いやる人間性を身に付けることができる。		HSU (1) (2) (3) (5) NS (1) (4) (5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション(授業の進め方、評価方法・学習方法の説明)：憲法とは何か(憲法の意義と役割、最高法規)について学習する。	講義	日常生活で法的思考を取り入れる。小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。	4	
2	日本国憲法の成立過程(制定過程の特徴)について学習する。	講義	日常生活で法的思考を取り入れる。小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。	4	
3	天皇制(明治憲法から日本国憲法への転換、天皇の位置づけ)について学習する。	講義	日常生活で法的思考を取り入れる。小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。	4	
4	平和主義(憲法9条の構造、自衛隊と安全保障、憲法改正)について学習する。	講義	日常生活で法的思考を取り入れる。小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。	4	
5	人権(基本的人権の特徴、基本的人権の尊重、公共の福祉)について学習する。	講義	日常生活で法的思考を取り入れる。小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。	4	
6	精神的自由権(表現の自由、学問の自由、信教の自由)について学習する。	講義	日常生活で法的思考を取り入れる。小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。	4	
7	経済的自由権(職業選択の自由、財産権)について学習する。	講義	日常生活で法的思考を取り入れる。小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。	4	
8	人身の自由(逮捕・拘禁、適正手続、令状主義)について学習する。	講義	日常生活で法的思考を取り入れる。小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。	4	
9	社会権(生存権、教育を受ける権利、労働基本権)について学習する。	講義	日常生活で法的思考を取り入れる。小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。	4	

【教養科目領域/学術科目群】

10	参政権(選挙権・被選挙権)について学習する。	講義	日常生活で法的思考を取り入れる。小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。	4			
11	国会(国会の権限、立法過程)について学習する。	講義	日常生活で法的思考を取り入れる。小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。	4			
12	内閣(内閣の構造と権限、行政権)について学習する。	講義	日常生活で法的思考を取り入れる。小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。	4			
13	裁判所(裁判所の役割、最高裁判所の違憲審査)について学習する。	講義	日常生活で法的思考を取り入れる。小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。	4			
14	財政・地方自治(財政とは、予算の仕組み、地方自治)について学習する。	講義	日常生活で法的思考を取り入れる。小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。	4			
15	振り返り(総括)	講義	日常生活で法的思考を取り入れる。小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。	4			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照						
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	35	0	0	0	0	35
	思考・推論・創造する力	35	0	0	0	0	35
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	20	0	0	0	0	20
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験では短答式問題と記述式問題を課す。また、講義内の小テストも評価の対象とする。定期試験と小テストの内容を総合的に評価する。				
	②	✓					
	③	✓					
レポート	①						
	②						
成果発表	①						
	②						
ポートフォリオ	①						
	②						
その他	①						
	②						
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	なし						
実践的授業の内容	学生として最低限必要な知識の習得と学びの定着を念頭に置いて講義を進める。必要に応じて聴覚教材を使用し講義を進める。						
その他	憲法概論を学ぶことによって法の仕組みや学生として最低限必要な知識を習得することが出来る。特に憲法と他の法律との関係性を含めた知識の習得は、今後の社会生活において大きな指針となる。そのため日常生活のなかで法的思考を取り入れることを推奨する。本講義は対面式授業のため、大学が示した感染症対策の指針を遵守すること。また、感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動を取った場合は受講を認めないことがある。なお、今後の社会情勢によってはシラバスの変更が行われることがある。						